

平成19年4月16日

米国自転車市場レポート2007年4月号

(GTG Gluskin Townley Group が財団法人自転車産業振興協会向けに作成)

1. 米国自転車市場情報

1-1) 米国自転車市場の全体の規模

今回は最初のレポートなので米国自転車市場の基本的な情報について明らかにしたい。2006年の市場調査を丁度終えたところであり、以下のとおり現在の状況について報告を行う。

表1は2003年から2006年における米国の総自転車販売を推定したものである。この表は全米スポーツ用品協会(NSGA)が発表したデータを使用して作成したものである。これは米国自転車市場の実際の規模及び小売金額の姿を知る上で最も正確なものであると考えられる。

表1 米国自転車産業小売金額の推定(百万米ドル) 2003・2004・2005年、2006年(予測)

	2003	2004	2005	2006 予測	2005/2006 変化
サイクリング ウェア	\$672.9	\$757.6	\$784.1	\$819.0	+ 4.5%
サイクリング シューズ	\$42.0	\$42.5	\$49.5	\$50.0	+ 1.0%
自転車及び関連 製品	\$4,736.0	\$4,897.7	\$5,342.9	\$4,940.0	- 7.5%
合計:	\$5,450.9	\$5,697.8	\$6,176.5	\$5,809.0	- 5.9%

出典：全米スポーツ用品協会(NSGA) 2006年スポーツ用品市場レポート

2006年は、2005年から約6%減少、市場全体で58億ドルとなる見込みである。この減少の全ての要因は、2005年から2006年にかけて重要な分野である自転車及び関連製品が推定で4億290万ドル、小売金額の7.5%減少することによる。この減少は、少なくとも自転車に関しては、2006年に自転車輸入台数が8%減少したことが原因で、輸入自転車の発注が減少したことを示している。

1-2) 2006年米国自転車市場の概要

米国の2006年の自転車消費台数は1,830万台、前年から7.6%減少したと見られる。表2に示されるとおり、2006年は2005年に比べ全ての車種及び車輪径の合計で150万台消費が減少した。

2006年の輸入は過去十年間の平均を僅かに上回った。この年、全ての車輪径全体で1,810

万台の自転車が輸入されたが、2006年は輸入に関しては平均を僅かに上回る年として位置づけられるであろう。

表2 米国自転車市場の見掛消費の推測 2006年と2005年の対比

	2005	変化	2006
輸入合計	19,803,531	-8.0%	18,210,634
外国への差し引き輸出	-84,333		-71,399
輸入小計	19,719,198		18,139,235
国内生産	321,000	+6.2%	341,000
国内への差し引き出荷	-267,648		-221,037
国内向け小計	53,352		119,963
見掛米国市場消費台数総計	19,772,550	-7.6%	18,259,198

出典：米国商務省輸出入統計 2005、2006、国内生産は The Gluskin Townley Group 提供

2006年は過去十年間で6番目に市場における消費状況が良い年であった。2006年は2005年に比べ見掛消費台数が7.6%減少したが、過去十年間の状況からみると平均(1,800万台)を僅かに上回り、表3に示すとおり全体の市場消費台数については、過去十年間で6番目に良い年に位置づけられる。

2006年は過去十四年間の上下変動幅の中に収まっている。販売面におけるこの減少については、自転車産業が過去十四年間に経験した上下変動幅の中に収まっていることを指摘しておくことは意義がある。この期間を通し変化の幅は小さく、上下変動は2006年も含め同じ特性値の中に収まっている。良いニュースはもしこの傾向が続くならば、2007年は、今後2～3年にわたり続くであろう全体販売の上昇局面が始まるということだ。

過去十年にわたり米国の消費台数は1,500万台を超える水準を維持している。全体の市場消費見込み台数は十年間にわたり、1,500万台を超える状況が続いており、2000年には2,090万台で最高に達し、2001年は景気とともに1,680万台に落ち込み、2006年に1,830万台に減少するに先立ち、2002年には1,970万台、2005年には1,980万台に増加した。

表3 米国の推定見掛自転車市場消費台数 1997～2006 十年間の総台数、平均台数による
順位 (千台)

順位	年	見掛市場消費台数
1	2000	20,903
2	2005	19,773
3	2002	19,656
4	2004	18,507
5	2003	18,500
6	2006	18,259
7	1999	17,475
8	2001	16,792
9	1998	15,830
10	1997	15,200
10-Year	合計	180,847
10-Year	平均	18,085

出典：米国自転車工業会及び米国商務省輸出入統計 1996-2006、The Bicycle Council 市場予測 1997-2000、The Gluskin Townley Group 2001-2006

米国の国内生産は1996年に減少が始まった。そして同じ年に輸入が増加し始め、1998年には輸入が米国市場の87%を占め、2000年及び2001年には98%に増加し、2002年から2005年の間は99%を超えた。表4は1997年から2006年にかけての国内生産と輸入との比較の推移を示す。

表4 米国自転車市場消費台数；1997-2006 推定 (千台)

	1997 ^e	1998 ^e	1999 ^e	2000 ^e	2001 ^e	2002 ^e	2003 [*]	2004 [*]	2005 [*]	2006 [*]
国内生産	5,400	2,021	1,169	429	274	156	143	86	53	120
輸入	9,800	13,809	16,306	20,474	16,518	19,500	18,357	18,421	19,719	18,139
合計	15,200	15,830	17,475	20,903	16,792	19,656	18,500	18,507	19,772	18,259
%	-1.8	+4.1	+10.4	+19.6	-19.7	+17.0	-6.0	+0.03	+7	-7.6

出典：米国自転車工業会、米国商務省輸出入統計1996-2005、The Bicycle Council 市場予測 1997-2000、The Gluskin Townley Group 2001-2006

表5は過去十年間にわたる輸入と国内生産との比率を示したものである。

表5 米国国内消費台数における自転車輸入と国内生産の百分率 1997～2006 推定

	1997 ^e	1998 ^e	1999 ^e	2000 ^e	2001 ^e	2002 ^e	2003 [*]	2004 [*]	2005 [*]	2006 [*]
国産比率	35.5	12.8	6.7	2.0	1.6	0.8	0.77	0.46	0.27	0.7
輸入比率	64.5	87.2	93.3	98.0	98.4	99.2	99.23	99.5	99.7	99.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典：米国自転車工業会、米国商務省輸出入統計 1996-2005、The Bicycle Council 市場予測 1997-2000、The Gluskin Townley Group 2001-2006 *輸出は除外

米国自転車市場を分析するには2つの対象がある。一つは車輪径 19 インチ以下、もう一つは車輪径 20 インチ以上のものである。1997 年から現在に至るまで、米国自転車業界は国内製造業者から生産データを手に入れている。1996 年までは米国自転車工業会（BMA）が米国国内生産に関する年間レポートを発表していた。更に、1980 年代から 1996 年までは結果として自転車の国内生産に関する良いデータを発表することになる貿易上の一連の活動があった。1997 年以降 BMA は会員構成の変化によりこのデータの収集や発表ができなくなり、他に政府を含めこれに取って代わる組織がなくなった。

1997 年以前、業界は 20 インチ以上の自転車の消費状況について報告していた。このことにより全ての 19 インチ以下の自転車のマーケットシェアに関するデータが除かれていた。自転車専門店の取引に従事する一部の人は、これが本当の自転車市場であり車輪径 20 インチに満たない自転車はおもちゃであり、米国自転車市場データを発表するときには考慮されるべきではないと感じていたし、或いは今でもそのように感じている人もいる。1997 年から 2000 年まで、業界は 19 インチ以下のものを含む全ての自転車の推測市場消費状況について報告していた。

米国自転車小売協会（NBDA）は表6に示すとおり、20 インチ以上の自転車の米国自転車市場消費状況の報告に戻すように求められてきた。1997 年から 2000 年にかけては国内生産が残っていたことと、どの車輪径の自転車が生産され出荷されたのかというデータがないという事実から、これは実施できなかった。2001 年からは国内生産はとるに足らなくなったことに加え、米国で消費される 19 インチ以下の自転車の殆どは輸入されるようになった。2001 年のデータから、我々は米国自転車市場で消費される全ての自転車と、米国市場で消費される 20 インチ以上の自転車の両方について報告しはじめた。表6と表7は 19 インチ以下のものを含む場合と含まない場合の米国自転車市場の見積りと、その結果としての規模の推測を示す。

表 6 2006 年全ての自転車の米国自転車見掛市場消費台数及び 20 インチ以上の自転車の米国自転車見掛消費台数

	全ての自転車の米国自転車見掛市場消費台数	20 インチ以上の自転車の米国自転車見掛消費台数
19 インチ以下 (輸入)	5,513,676	
全ての 20 インチ以上の自転車 (輸入)	12,696,958	12,696,958
外国への差し引き輸出	-71,399	-71,399
小計	18,139,235	12,625,559
国内生産追加	119,963	119,963
2006 年の全ての自転車の米国見掛消費推定	18,259,198	
2006 年の 20 インチ以上の自転車の米国見掛消費推定		12,745,522

出典：米国商務省輸出入統計 2005、2006、国内生産は The Gluskin Townley Group 提供

車輪径 20 インチ以上の自転車について報告を行うことにより専門自転車店の市場シェアは間違いなく増加し、最近の流通経路データと古いデータとが比較できるようになる。しかし量販店が幼児車の製品分野で市場を独占していることを示す必要もある。

従って我々は米国自転車市場及び自転車の見掛消費状況を検討するにあたっては、両方の方法を継続させることにする。

表 7 は、全ての大きさの自転車と 20 インチ以上の自転車の、見掛米国市場消費台数の 2004 年 2005 年及び 2006 年推測について、比較したものである。

表7 全ての大きさの自転車と 20 インチ以上の自転車の、見掛米国市場消費台数の 2004 年 2005 年及び 2006 年における比較

	2004 年全 自転車推定	2004 年 20 インチ 以上推定	2005 年全 自転車推定	2005 年 20 インチ 以上推定	2006 年全 自転車推定	2006 年 20 インチ以 上推定
19 インチ以下 (輸入)	4,579,920		6,036,936		5,513,676	
20 インチ以上の全 て(輸入)	13,910,557	13,910,557	13,766,595	13,766,595	12,696,958	12,696,958
国内生産推定	335,000	335,000	321,000	321,000	341,000	341,000
小計	18,825,477	14,245,557	20,124,531	14,087,595	18,551,634	13,037,958
マイナス米国輸出	-318,733	-318,733	-351,981	-351,981	-292,436	-292,436
全ての米国自転車見 掛市場消費推定台数	18,506,744		19,772,550		18,259,198	
20 インチ以上の米 国自転車見掛市場消 費推定台数		13,926,824		13,735,614		12,745,522
全自転車の変化率			+6.8%		-7.6%	
20 インチ以上の自 転車の変化率				-1.4%		-7.2%

出典：米国商務省輸出入統計 2005、2006、国内生産は The Gluskin Townley Group 提供

1-3) 流通経路

米国の自転車業界には複数の流通経路にわたる製品分野ごとの販売データを収集するための手立てや仕組みは存在しない。従って我々はデルファイパネルや連絡を取ることでできるだけ多くの産業専門家からデータを入手し、推定を行っている。データや情報取得に制限があることから、我々の流通経路に関する推測は、全ての車輪径の自転車、及び 19 インチ以下のものが対象となっている。

表 8 は 2006 年の米国市場における主な流通経路別の米国見掛自転車消費状況を示す。

表 8 2006 年流通経路別米国自転車市場消費状況の推測

経路	小売店における 推定消費台数 (百万台)	台数比 %	小売店における推定 販売金額 (百万ドル)	金額比 %	平均販売単価 の推測
量販店	13,694,399	75.0	\$985,996,692	36.8	\$72
チェーンスポーツ用品店	912,960	5.0	\$205,415,978	7.7	\$225
専業小売店	3,104,064	17.0	\$1,310,097,592	48.9	\$422
その他	547,776	3.0	\$178,027,181	6.6	\$325
合計	18,259,198	100.0	\$2,679,537,442	100.0	\$147

出典：米国商務省輸入統計 2006、The Gluskin Townley Group 2006 推測、輸出を除く

2003 年から 2006 年にかけての 4 年間は量販店ルートで相応の変化が起きている。この変化というのは、値段のより高い Sting Ray (Sting Ray はパシフィックサイクル社の登録商標) とその他チョッパー型の自転車の導入によるものが含まれており、このことにより平均販売単価と台数と金額における全体のマーケットシェアがあがっている。しかし、Sting Ray チョッパーは一過性なものに終わり、供給業者・量販店双方の販売は明らかに減少した。2003 年から 2005 年にかけての直接的結果は、量販店ルートにおけるシェアが台数で 74% から 75% へと、小売金額で 34.6% から 37.4% へと増加したことであった。量販店は 2006 年にはライセンスブランド製品の販売に戻り、また、より乗りやすい車種とともにハイブリッド 700c とロード 700c の導入を行った。2006 年は台数は伸び、しかし金額シェアは 1% 減少した。

表 9 米国自転車市場における流通経路別見掛消費状況 2004, 2005 及び 2006 (推定) 台数及びマーケットシェア

経路	2004 推定 台数 (百万台)	2004 推定 シェア	2005 推定 台数 (百万台)	2005 推定 シェア	2006 推定 台数 (百万台)	2006 推定 シェア
量販店	13,784	74.5	14,829	75.0	13,694	75.0
チェーンスポーツ用品店	981	5.3	1,186	6.0	913	5.0
専業小売店	3,058	16.5	3,164	16.0	3,104	17.0
その他	685	3.7	593	3.0	548	3.0
合計	18,507	100.0	19,773	100.0	18,259	100.0

出典：米国商務省輸入統計 2004、2005、2006、The Gluskin Townley Group 2004、2005、2006 推測、輸出を除く

表9は流通経路ごとの台数とシェアの過去三年間の比較を示す。量販店は2004年から2005年にかけて台数が増加したことがわかり、2006年には前述のように減少した。チェーンスポーツ用品店は、このルートの中で合併が行われたこともあり、三年間にわたり増減変動パターンを示している。専門店は他の全ての流通経路からの圧力にも拘わらず、一定のマーケットシェアを維持している。

表10は経路ごとの販売金額シェアを示している。2004年、2005年と高価格のSting Rayチョッパー車のため量販店経路における小売金額が上昇し、2006年にはこの一過性が終了したことが反映されている。

表10 米国自転車市場における流通経路別見掛消費状況 2004, 2005 及び 2006(推定) 小売金額及び金額マーケットシェア

経路	2004 推定 台数 (百万台)	2004 推定 シェア	2005 推定 台数 (百万台)	2005 推定 シェア	2006 推定 台数 (百万台)	2006 推定 シェア
量販店	\$ 951,063	36.9	\$1,038,059	37.4	\$985,997	36.8
チェーンスポーツ用品店	264,831	10.3	320,315	11.5	\$205,416	7.7
専門小売店	1,223,045	47.5	1,297,079	46.8	\$1,310,098	48.9
その他	136,265	5.3	118,635	4.3	\$178,027	6.6
合計	\$2,575,204	100.0	\$2,774,089	100.0	\$2,679,537	100.0

出典：米国商務省輸入統計 2004、2005、2006、The Gluskin Townley Group 2004、2005、2006 推測、輸出を除く

専門小売店の経路でも小売金額が上昇している。これは2004年と2005年に小売単価1,000ドルを超えるロード700cの販売が増加したことによる。ロード700cの急増は2006年には収まった。2006年に一部で小売金額が引き続き増加しているのは在庫の増加の影響によるものである。市場の見掛需要には小売販売と在庫との両方を含む。流通経路がより効率的になれば見掛市場需要はより実際の小売販売に近づく。ただ単純に何が当該流通経路に入ったのか、全体から推定するということである。

表 11 米国自転車市場における流通経路別推定販売価格 2004、2005、2006

流通経路	2004 推定平均販売単価	2005 推定平均販売単価	2006 推定平均販売単価
量販店	\$69	\$70	\$72
チェンスポーツ用品店	\$270	\$270	\$225
専門小売店	\$400	\$410	\$422
その他	\$199	\$200	\$325
合計	\$139	\$140	\$147

出典：米国商務省輸入統計 2004、2005、2006、The Gluskin Townley Group 2004、2005、2006 推測、輸出を除く

推定平均小売価格は量販店と専門店とで継続的に上昇している。既に述べたとおり、Sting Ray チョッパーモデルの導入と販売、それに引き続きハイブリッド 700c とロード 700c への注目度の高まりにより、量販店では平均単価のより高い自転車の販売が増えた。自転車専門小売店は小売 1,000 ドルを超えるロード 700c の販売急増を経験し、平均小売単価もこれに伴い上昇した。

米国における自転車製品の主要流通経路の特徴の定義づけ。表 12 は 2006 年の米国における自転車及び関連製品の 4 つの主要流通経路ごとの特徴を定義付けている。

我々は 2006 年に小さな変更を行った。表に示す「専門店－自転車店+」というのは自転車専門店、すなわち自転車店と、スキー・キャンプ・アウトドア用品店を含む特定スポーツ小売店とをあらわしている。

特定スポーツ小売店及び特定アウトドア用品店は何十年間にもわたり自転車店の流通経路の一部であり、ハドソントレイルアウトフィッター社のように地域的に複数店舗展開しているアウトドア店は、同社がバイシクルリテラー紙の 2007 年小売店上位 100 社にリストされていることからわかるとおり、トップクラスの自転車店であると考えられている。

表 12 2006 年米国自転車市場 流通経路による特徴

量販店	専門店—自転車店+	チェーンスポーツ用品店	その他
1,370 万台, 全台数の 75%のシェア	310 万台, 全台数の 17%のシェア	913,000 台, 全台数の 5% のシェア	548,000 台, 全台数の 3%のシェア
4 つの大規模チェーン が量販店全体の 60 % , 即ち全小売販売の 40%以上を占める: <ul style="list-style-type: none"> • Wal-Mart • Kmart • Target • Toys-R-Us 	4,600 店の専門自転車 小売店 (注: Performance を含 む) + 特定スポーツ小売 店	30 のチェーンスポー ツ用品店: <ul style="list-style-type: none"> • Sports Authority/Ga rt • Champs Sports • Dicks Sporting Goods/Gallio ns • JumboSports • Sportmart 	種々のメールオーダ ー、インターネット販 売店、その他地元、地 域自転車小売店 <ul style="list-style-type: none"> • Mail Order • Internet Retailers • Other retailers
年間自転車小売金額 9 億 8,600 万ドル、全自 転車小売金額の 36.8%	年間自転車小売金額 13 億ドル、全自転車 小売金額の 48.9%	年間自転車小売金額 2 億 500 万ドル、全自転 車小売金額の 5%	年間自転車小売金額 5 億 4,800 万ドル、全自 転車小売金額の 3%
平均小売単価 \$72	平均小売単価\$422	平均小売単価\$225	平均小売単価\$325
<u>主要自転車供給業者</u> <ul style="list-style-type: none"> • Pacific Cycle Mongoose Roadmaster • Dynacraft Bicycles Magna • Huffy Bicycles Royce Union • Rand International • Kent International 	<u>主要自転車供給業者</u> <ul style="list-style-type: none"> • Trek Bicycle Corp. • Giant Bicycle Inc. • Specialized • Raleigh America • Pacific Cycle Schwinn GT • Cannondale • Haro • Redline この他 90 以上のブラ ンド及び供給業者	<u>主要自転車供給業者</u> <ul style="list-style-type: none"> • Huffy Bicycles Royce Union • Raleigh America Diamondback • Pacific Cycle Mongoose Schwinn GT • K2 • Haro 	<u>主要自転車供給業者</u> <ul style="list-style-type: none"> • Pacific Cycle • K2 • Dynacraft Bicycles • Huffy Bicycles • Rand International • Kent International

部品、付属品及び一部ウェアの販売在庫は限定的。 アフターマーケットは比率で 22%~24%、金額で 6 億 8,700 万~7 億 5,000 万ドル	部品、付属品、ウェア、シューズを最も幅広く取り扱う。 アフターマーケットは比率で 30%~31%、金額で 9 億 3,700 万~9 億 6,900 万ドル	部品、付属品、ウェア、シューズを比較的幅広く取り扱う。 アフターマーケットは比率で 24%~26%、金額で 7 億 5,000 万~8 億 1,200 万ドル	部品、付属品、ウェア、シューズを幅広く取り扱う。 アフターマーケットは比率で 19%~24%、金額で 5 億 9,400 万~7 億 5,000 万ドル
--	---	--	---

出典：The Gluskin Townley 2006 分析；新千年紀サイクリングコンシューマー

(注：アフターマーケット=部品、付属品、ウェア及びシューズ。修理工賃は含まない。)

その他の興味深い特徴の一つは、主要自転車供給業者の中に示されている Pacific Cycle 社が事実上米国の全ての流通経路への供給業者としての地位を得ていることである。その他、Haro 社と Raleigh America 社は二つかそれ以上の流通経路への供給業者と位置づけられている。アフターマーケットも各々の主要流通経路の中で特徴付けられており、量販店ルートの中では厳しい競争が行われている。例えば Pacific Cycle 社は Schwinn のようなブランド名に対して、他社が量販店ルートの中で販売するにあたっては、攻撃的なライセンス戦略を作り出している。専門店ルートの Trek や Giant のような会社は、引き続き更なる収入収益源を積極的に求める中で、自社の独自ブランドのついた部品・付属品・ゴム製品及びウェア類の拡大を行っている。その他の自転車及び自転車アフターマーケット製品の流通経路に含まれるのは、メールオーダー、インターネット販売店、例えば金物店のような自転車及び関連製品を取り扱うその他の地元或いは地域の小売店である。これは種々のグループからなっており、明確に定義された流通経路ではないが、変化に対し十分な注意を払っていかなくてはならない混載グループである。

2. 新製品

バイシクルリテラー紙とプレスリリースから以下の新製品を取り上げた。

- Niterider MiNewt's Luxeon 社 LED ライト、ハンドルバー取り付け式、希望小売価格 US\$159.99 www.niterider.com
- Blue Competition Cycles, カーボンフレーム www.rideblue.com
- Selle Royal Ergo Gel Twin Flex サドル、希望小売価格 US\$55 www.highway-two.com
- Crank Brothers Hans Rey 5050xx ペダル、希望小売価格 US\$120 www.crankbrothers.com
- SIDI Dragon 2 Mountain Bike シューズ、希望小売価格 US\$319.99 www.veltecsports.com

- Cyclesounds System、自転車用カーオーディオ、シート下に装着、希望小売価格 US\$159.95 www.cyclesounds.com
- Princeton Tec Switchback LED ライト、ヘルメットに装着、3タイプ、希望小売価格 US\$389, \$269, \$199 www.princetontec.com
- Full Speed Ahead K-Force Light Road Compact クランクセット、 mego-ex0 セラミック、hallow カーボンクランク、630 グラム、希望小売価格 US\$699.99 www.fullspeedahead.com
- Truvativ Noir MTB 3.3 Team クランクセット、805 グラム、希望小売価格 US\$440.00 www.truvativ.com

3. 販売好調な品目

最高級市場では引き続きカーボンファイバーフレームと自転車が販売好調なようである。

オーダーメイドのフレームと自転車に関心が集まり、販売も増えはじめている。この分野は追跡が難しいが、「オーダーメイド」が最高級分野で好調であるという徴候がある。

ハイブリッド及びコンフォート自転車は1～3月に好調だったと報告されている。4月に入り、更に本年4～6月にかけて、本当のシーズンが始まるであろう。5月6月と追跡調査を行う。

自転車用コンピュータは現在好調だと報告されており、CycleOps Power Tap パワー計測システムが良い事例だ。(→センサー付リアハブ、データがワイアレスで手元のコンピュータに転送表示される、www.cycleops.com)

GPS及びエレクトロニクスと組み合わせたGPSは好調だ。最新技術をほしがめる熱心なマニアたちのため\$500～\$800の価格帯のものは無くなるどころか、減少する傾向すら見られない。

ドリンク剤、パウダー、ジェル、チョコレートバーなどがやはりマニアの間で人気があり、春需にあたり好調と考えられている。

国際業務部



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。